



フードセーバー®
VS1192/VS1193
取扱説明書



輸入元：コールマンジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル



© 2021 Sunbeam Products, Inc. All rights reserved. Distributed by Coleman Japan Co.,Ltd., 10/F, Shibaura Square Building, 4-9-25, Shibaura, Minato-ku Tokyo, 108-0023 Japan. One Year Limited Warranty – see inside for details.

安全にお使いいただくために

フードセーバー[®] をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、注意事項・使用方法にしたがって安全に正しくご使用ください。

ケガや事故の原因になりますので、この取扱説明書に記載のない目的・方法では絶対に使用しないでください。

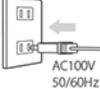
■絵表示について

表示内容を守らず、誤ったご使用をされたときに生じる危害や損害の程度を、下のような表示で区分して説明しています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

マーク  は、してはいけない「禁止」の内容です。

マーク  は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容

	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●濡れた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、電源が入った状態の本体を触ったりしないでください。感電の恐れがあります。	
	交流 100V の電圧で使用する ●本製品は交流 100V 以外での電源コンセントには使用しないでください。延長コードは使用しないでください。タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。	
	異常な状態では使用しない ●お子様やペットのそばでは使用しないでください。 ●本製品または他の部品を落としたり破損した場合には、使用しないでください。 ●本製品を異常な状態で使用しないでください。煙がでたり、異臭がするなど、異常な状態での使用すると、火災・感電の原因になります。	
	感電注意 水をかけたり、濡らしたりしない ●火災・感電・ケガを防ぐため、フードセーバー本体、電源プラグ、電源コードを水等の液体に浸けないでください。	
	自分で分解・修理しない ●自分で分解、改造、修理降る事は絶対にしないでください。破損・故障・ケガ・事故の原因になります。 ●本製品、電源コード、プラグが破損しているとき、または正しく作動しないときは、巻末にご案内している連絡先に修理を依頼してください。	
	記載のない目的、方法で使用しない ●この取扱説明書に記載のない目的、方法では絶対に使用しないでください。ケガや事故の原因になります。	
	専用バック、バックロールに熱いものを入れないでください。 ●(充分冷ましてから入れてください) やけどの原因になります。	

⚠ 注意「人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です

	電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。 ●お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて冷ましてから行ってください。
	指をはさまないように ●ふたの開閉時に指が挟まれないように注意してください。 ●水気の多いものをそのまま脱気密封しないでください。本体が液を吸い込み、故障の原因になります。 ●使用直後は、本体のシール部や袋のシール部は大変熱くなります。使用中・使用後の取扱いには充分ご注意ください。やけどの恐れがあります。
	放置しない ●電源コードをコンセントに差し込んだまま、フードセーバーのそばを離れないでください。
	ほこりやゴミを取る ●電源プラグに付いたほこりやゴミは取り除いてください。
	本体を逆さ、横倒しで使用しない ●使用時はフードセーバーを逆さにしたり、横倒しにしないでください。 ●使用中に移動させないでください。感電・ケガの原因になります
	水気、火気の近くに置かない ●台所の流し台、水気のある場所、油煙や湯気があたる場所、湿気やほこりの多い所では使用しないでください。 ●本体・袋・専用バッグ・専用バックロールを火気の近くに置かないでください。火災の原因になります。
	炊飯器使用の注意 ●圧力式の炊飯器では脱気密封したバックをしようする真空クッキングを行わないでください。 ●炊飯器内部が 100℃異常になるため、袋が破裂したり、炊飯器が故障する場合があります。 ●炊飯器をしようする場合は、炊飯器の鉄名所も併せてお読みください。 ●炊飯器をしようする真空クッキングはおお客様ご自身の責任で調理してください。事故・破損について、当社は責任をおいかねます。
	ゴムパッドを研磨剤で拭かない ●黒いゴムパッドを研磨剤などで拭かないでください。事故の原因になります。 ●保存物をオープンや直火で戻さないでください。
	電源コードの取り扱い注意 ●電源コードは、使用時に束ねないでください。 ●電源コードをテーブルやカウンターの端などに引っかけたり、ドアにはさんだり、ねじったり、もつれさせたりしないでください。破損・故障やケガの原因になります。 ●電源コードをコンロや暖房器具など高温になるものに近づけないでください。電源コードの破損ややけどの原因になります。 ●電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。

ご使用上の注意

お客さまの安全と火事、感電、又はケガ等を防ぐ為に、必ず基礎的な注意を払い、以下の事項もお守りください：

1. 取扱説明書をしっかりとお読み、操作方法をお守りください。
2. バッグシーラーについて：火傷などのケガを防ぐ為に、使用中、密封用ヒーターを触らないでください。
3. 感電から身を守る為に、いかなる事があっても、フードセーバー本体、電源コード又はプラグを水又はその他の液体に浸けないでください。
4. 本製品をお子様や障害のある方が使用しないようにしてください。
5. 本製品をお子様の付近でのご使用の場合、必ず大人の監視・監督の下、ご使用してください。本製品はおもちゃではありません。おもちゃとして遊ばないでください。
6. 使用後、お掃除の際は電源コードをコンセントから抜いてください。本体が冷めていることを確認してから、お掃除や付属品の取り外しを行なってください。コンセントから電源プラグを抜く際、コードを引っ張らないでください。電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。
7. 電源コードが破損している場合、本体の異常、破損、または故障していると思われる場合、フードセーバー®のご使用をおやめください。詳しくは下記に記載されているカスタマーサービスへご連絡頂き、修理・点検等をご相談ください。
8. メーカー推奨のアクセサリ以外の付属品などを本製品と合わせて使用した場合、火事、感電、人体へケガなどを引き起こす恐れがありますので使用にならないでください。
9. 濡れている場所や野外でのご使用は絶対にしないでください。本製品は一般家庭で個人が使用する為に製造された製品です。業務用としての使用は絶対にしないでください。
10. 電源コードをテーブルやカウンターの端から垂れた状態又はコンロや暖房器具などの熱くなる表面に触れないようにしてください。
11. 特にお子様が悪くつまずく、引っかかる、引っばる、絡まる又は製品が横転する等の事故が生じないよう、電源コードを注意して設置してください。
12. 濡れている又は水気の多い場所、熱いオープンやコンロなど火気又は熱源付近に本製品を置かないでください。必ず平らで安定した場所に本製品を設置してください。
13. 熱い液体を含む容器やバッグの移動・密封する際の取り扱いには十分注意して行ってください。
14. 電源コードは必ず本体へ先に接続してから、電源プラグをコンセントへ差し込んでください。(取り外し可能な電源コードがついている製品について)
15. 本製品の使用目的以外の方法でのご使用はおやめください。

一般家庭用。

業務用としての使用は絶対にしないでください。

この取扱説明書は大事に保管してください。

電源コードの取り扱いについて：

特にお子様がつまずく、引っかかる、誤って引っ張ってしまうような事故を未然に防ぐため、長い電源コードはテーブル又はカウンターの上から垂らした状態で設置しないでください。

重要注意事項

1. 真空保存は熱処理される缶詰の代わりとなる保存方法ではありません。真空パックする事で鮮度を保ちますが、殺菌作用はありません。生鮮食品は、必ず冷蔵庫・冷凍庫にて保存してください。
2. 本製品は必ずフードセーバー®ジッパーバッグと真空ボックス* と一緒にご利用ください。
3. 真空パック作業中、少量の液体、食品または食べ物が吸引溝に吸い込まれる場合があります。毎回、使用後は必ずドリフトレーを掃除してください。
4. 入れすぎにご注意ください。必ず袋口から保存する商品まで10センチ程の余裕が必要です。この余裕がある事で食材に密着し、密封時に吸引溝からバッグが外れない事を保証します。バッグの再利用をお考えの場合、都度3センチ程余分にバッグが必要になります。
5. 専用バッグ・専用パックロールを縦に切って、シールを行わないでください。専用バッグ・専用パックロールは工場ではバッグの端まで特殊シールが施されています。
6. 大きくて、かさばる物をパックする際、シワやよれを防ぐために、バッグを優しく引っ張り、平にしながら、バッグの開いている側を吸引溝に差し込み、吸引が作動するまで抑えてください。
7. とがった部分がある物をパックする際（パスタ、ナイフ・フォーク等）ペーパータオルなどのクッション材で一度包んでから吸引・密封してください。クッション材なしでは、バッグに穴が開く性能があります。バッグの代わりにキャニスター又はメイソンジャーの使用をおすすめします。
8. アクセサリを使用する際、キャニスター・フレッシュボックスの上部から約2センチ以上空けてご使用ください。
9. 野菜・果物を真空パックする際、下処理する事がポイントです。果物の場合、お皿・角パットに並べて、2時間程冷凍庫にいれて、軽く冷凍する。野菜の場合、軽く湯通しする。それぞれの下処理後、真空パックしてください。
10. 続けてパックする場合は、最低20秒、本製品を休ませてから次のパックを行ってください。
11. ふたを絶対に『操作』状態で保管しないでください。ゴムパッキングが潰れてしまいます。

■もくじ

安全にお使いいただくために	2
ご使用上の注意	4
重要注意事項	5
はじめに	7
各部の名称と機能	8
How to...	10
1. FoodSaver®パックロールを袋状(バッグ)にする	
2. FoodSaver®バッグで吸引・密封保存する	
3. ハンディーシーラーを利用して吸引・密封保存する	
Care 本体のお手入れ・保管方法	14
保証書	15

はじめに

フードセーバー®をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

フードセーバー®は、真空状態にして空気の侵入を防ぎ、食材や身の回りの物を酸化・腐食・湿気から守るために利用いただけます。長年の間、フードセーバー®真空システムは多くの家庭の冷凍庫、冷蔵庫、パントリーにある食材の無駄を防ぐのに手助けしてきました。台所に一台あれば、フードセーバー®はさまざまな方に幅広い用途でお使いいただけます。

安全に効率よくお使いいただけるよう、安全上の注意事項や使用方法を記載しています。

ご使用前に必ずお読みください。

保証書は本書巻末にあります。

本書を紛失しないよう、いつでも手に取れる場所に保管してください。

ご質問・ご使用時にお困りですか？

フードセーバーカスタマーサービスセンターへご連絡ください：

0120-36-2040

または弊社ウェブサイト (www.foodsaverjapan.com) をご確認ください。

■仕様

型 名	フードセーバー VS1192	2000035771	ブラック	
	フードセーバー VS1193	2000035772	ホワイト	
電 源	100V 50/60Hz	原産国	中国	
消費電力	90W	重 量	約1.19kg	
外形寸法	幅314.7mm×奥行143.8mm×高さ110.6mm			

各部の名称と機能



重要：購入直後は、まれにロックレバーが固いことがありますが、ご使用の際はフタがロックされ表示ランプが点灯するまでしっかり押し下げてください。故障ではありませんので安心してご使用ください。



簡単で分かりやすいコントロールパネルだから、フードセーバー®を最も効率よくご利用いただけます。:

① 密封中ランプ

ランプが点滅している場合、密封作業中です。作業完了後、ランプが点灯します。

② 吸引中ランプ

ランプが点滅している場合、吸引作業中です。作業完了後、ランプが点灯します。

③ 密封ボタン

このボタンは3つの用途があります：

1. 片側を閉じて、フードセーバー専用パックロールから袋を作ることが出来ます。
2. 吸引作業を直ちに止め、密封作業を開始したい場合。パンやクッキーなどデリケートな食材の潰れを防止します。
3. 食べかけのスナック菓子袋を密封し、湿気から守ります。ただし、密封ができない袋もございます。

④ 吸引ボタン

このボタンは3つの用途があります：

1. 食材の吸引・密封保存をする際、ワンタッチで操作が可能。吸引・密封作業完了後、自動的に電源オフします。
2. 吸引作業を一時停止したい場合。
3. ハンディーシーラーを使用する時。

How to...

1. FoodSaver®パックロールを袋状 (バッグ) にする

1. パックロールは長いロール状になっていますので、パックしたい食材の大きさに合わせてハサミでカットします。カットする長さは食材の大きさ (長さ) +10センチが目安です。カットする際は、なるべくまっすぐ切ってください。
2. ロックレバーを『解除』位置へ上げます。本体のふたを開け、パックロールの片側を密封用ヒーターより奥にセットします。
3. ふたを閉じ、ロックレバーを『オン』の位置に下げます。吸引中ランプと密封中ランプが点灯したら、ロックレバーがしっかり下がっていて、準備完了の合図です。
4. 『密封ボタン』を押す。
5. 密封ランプが点滅から点灯に変わったら、密封完了です。ロックレバーを『開閉』位置に押し上げ、ふたを開けて、バッグを取り出します。



バッグを密封用ヒーターにのせる



ふたを閉じ、ロックレバーを『オン』の位置へ下げる



『密封ボタン』を押す

これで、完成したバッグに食材を入れ、真空パックが出来ます！ (次のページをご覧ください)

本機はフードセーバー®パックロール20cm巾、専用バッグ小、専用アクセサリと併せてご利用いただけます。

2. FoodSaver®バッグで吸引・密封保存する

1. バッグに食材を入れる。食材から袋の入口まで、必ず+8センチ以上が目安です。
2. ロックレバーを『解除』にあげ、本体のふたを開けます。バッグの開いている口の先端を本体の吸引溝の深い所に当ててください。
3. ふたを閉じ、ロックレバーを『オン』に下げます。吸引中ランプと密封中ランプが点灯したら、ロックレバーがしっかり下がっていて、準備完了の合図です。
4. 吸引ボタンを押し、吸引密封作業を開始します。完全に吸引されるまでモーターは作動し、完了後、自動的に密封します。
5. 密封ランプが点滅から点灯に変わったら、ロックレバーを『解除』し、フタを開けます。バッグを取り出してください。



バッグを吸引溝にセットする



ふたを閉じ、ロックレバーを『オン』の位置へ下げる



『吸引ボタン』を押す

注意：続けてパックする場合は、最低20秒、本製品を休ませてから次のパックを行ってください。

ポイント：

バッグの無駄を最小限にするために、バッグをドリフトレーに差し込まず、ドリフトレーの奥にバッグがかかるように設置してください。

How to...

3. FoodSaver®ハンディーシーラーを利用して吸引・密封保存する

本体のアクセサリホース差込口にハンディーシーラーの片側がカチッと鳴るまでしっかり差込む。

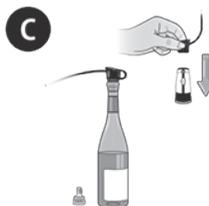
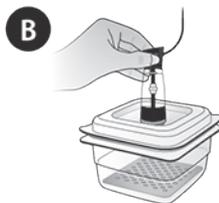
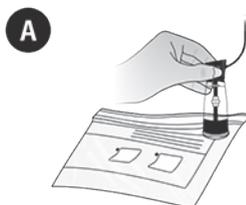
ジッパーバッグ (別売) & 真空フレッシュボックス (別売) :

ハンディーシーラーをジッパーバッグ **A** または真空フレッシュボックスに **B** の様に設置してください。

真空ボトルストッパー (別売) :

ハンディーシーラーの透明部分を取り外し、ホースのついている黒い上部についている突起部を真空ボトルストッパーに差し込みます **C**。

1. ふたを閉じ、ロックレバーを『オン』に下げる。吸引中ランプと密封中ランプが点灯したら、ロックレバーがしっかり下がっていて、準備完了の合図です。吸引ボタンを押す。
2. ランプが点滅し終わったら、吸引終了です。ロックレバーを『解除』にすると密封作業が中止されますが、特に中止する必要はありません。



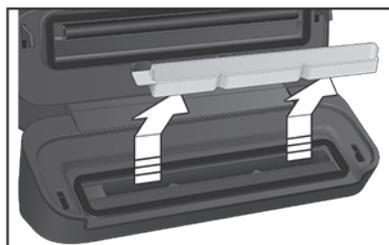
Care

本体のお手入れ方法：

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。絶対に水や液体などに浸けないでください。

ゴムパッキンとドリフトレー付近に食べ物がいないかご確認ください。ゴムパッキンは水を含む硬く絞ったやわらかい布で、必要に応じて丁寧に拭き取ってください。上下のパッキンは取外し可能です。必要であれば、中性洗剤とぬるま湯で洗えます。

ドリフトレーは取外し可能なので、誤って少量の液体などが吸引時に吸い上がってしまっても、お掃除が簡単です。本機を使用する度、必ずドリフトレーを空にしてください。



ドリフトレーは取り外し可能

ロックレバーを必ず中央の「保管」位置に回してください。絶対に「オン」に設定したまま、保管しないでください。パッキンが押しつぶされます。ロックレバーを「オン」位置のまま保管しますと、内側のパッキンが押しつぶされ、操作に不具合が生じる可能性があります（詳しくは下記参照）。

保管方法：

本体のお手入れが済み、完全に乾いたら、ふたを下ろし、ロックレバーを「保管」（中央）の位置に設置。この設定で保管することで、ふたを閉じますが、内側のパッキンを押しつぶすのを防止します。

本機を使用していない時は必ずロックレバーを「保管」位置に合わせてください。絶対に「オン」に合わせたまま保管しないでください。ロックが掛かった状態で保管すると、パッキンが押しつぶされて、正しく操作できなくなります。



保管の際は、ロックレバーを「保管」の位置に合わせる

お問い合わせ先
フードセーバーカスタマーサービスセンター 0120-36-2040 受付時間：平日 10:00～18:00（祝日、年末年始を除く）
輸入元：コールマンジャパン株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦スクエアビル

保証書

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この保証書は、保証期間中に故障が発生した場合には、下記の無料修理規定にしたがって無料修理を行うことをお約束するものです。
この製品が、万一保証期間内に故障した場合は、上記フードセーバーカスタマーサービスセンターにご連絡願います。保証期間内に限り無料で修理させていただきます。（ご返送の際に発生する送料はお客様のご負担となります。）
※修理を希望される場合、本書とフードセーバー®のお買い上げ証明（お買い上げ明細書、レシート、領収書など）の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

〔品名：フードセーバー®VS1192/VS1193〕 保証期間：ご購入日より1年間

お客様ご氏名： 様 ご購入日： 年 月 日

お客様ご住所：

お客様電話番号（購入時）

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な点がありましたら、上記の当社フードセーバーカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった使用状態で故障した場合は、保証期間内に限り無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - 本書の提示がない場合
 - お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お引き渡し後の輸送・落下・水濡れ等による故障および損傷。
 - 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。
 - 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。
 - 故障の原因が本機以外にある場合。
 - 付属品等の消耗品の交換。
 - 車輛船舶などに搭載されて生じた故障および損傷。
 - 一般家庭用以外の用途（業務用など）で生じた故障および損傷。
 - 取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られていない場合の故障。
- 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。
- 消耗品は保証対象外となります。
- 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
- 保証に関して不明の点がありましたら、当社フードセーバーカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので大切に保管してください。